

重点事項（北上市地域福祉活動計画 基本目標）の活動状況

基本目標1 地域福祉を担う人づくり

- 当協議会の認知度向上や広報紙をより身近に感じていただくため、広報紙の名称を「きたかみ社協だより」に改めるとともに、表紙に掲載する写真を市民から募集する等の取り組みに加え、掲載内容についても創意工夫をしながら情報発信を行いました。
- 地域福祉懇談会は、第4次北上市地域福祉活動計画の初年度に当たり、市内全地区（支部）で実施し、計画概要の周知を図るとともに、地域の福祉課題について意見交換を行いました。
- 福祉協力員が改選期により約半数が新任となりましたが、新任者が安心して活動ができるよう、福祉協力員の役割や活動内容等について説明を行うとともに、支部単位でも研修を行いました。
- 企業の地域貢献活動と連携しながら要援護世帯への支援を行い、地域福祉の向上を図りました。
- ボランティア登録者研修会では、全国的にも課題となっている“ひきこもり”をテーマに、先駆的な取り組みの様子や今後の支援方法等について研修し、理解を深めました。

(1) 地域を支える側、支えられる側どちらの立場でも「お互いさまの気持ち」で地域をつくるという意識を醸成する機会をつくる

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 広報（社協だより）等による情報発信 (1) きたかみ社協だより ① 発行回数：9回 （発行月：4月、6～10月、12月、2～3月 原則第2週金曜日に発行） ② 発行部数：330,767部 （1回 約36,750部）	社協だよりを全世帯に配布し、当協議会事業や福祉に関する情報を広く市民に提供し、意識の啓発を図りました。 また、当協議会の認知度向上を図るため、今年度から広報紙の名称を「きたかみ社協だより」に改めるとともに、市民から表紙に掲載する写真を募集し、より身近な広報紙づくりに努めました。 今後も、紙面の充実や効果的な情報発信を行います。 【指標】 広報発行 年9回
(2) ボランティア通信 ① 発行回数：4回（社協だよりに折込み） ② 発行部数：146,905部 （1回 約36,750部）	ボランティアに関する情報を収集し、「ボランティアみみより情報」として全世帯に配布し、ボランティア活動に関する意識の啓発を図りました。
(3) ホームページの運営、管理 年間アクセス数：11,618回	時機にあった情報提供・発信をするため、「きたかみ社協だより」とあわせ、ホームページを活用し幅広い広報活動を行いました。 今後は、ホームページの活用強化や新たにSNSの活用を行い、更に効果的・多角的な情報発信を行います。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>2 社会福祉大会</p> <p>(1) 第29回北上市社会福祉大会</p> <p>① 期 日：元年7月24日（水）</p> <p>② 会 場：さくらホール（大ホール）</p> <p>③ 参加者：688名</p> <p>④ 表 彰：62名、2団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉事業功労者 22名 ・社会福祉奉仕功労者 29名、2団体 ・褒賞（在宅介護者） 8名 ・褒賞（自立更生） 3名 <p>⑤ 記念講演</p> <p>演題：「『我が事・丸ごと』地域共生社会の実現に向けた地域づくり」</p> <p>講師：社会福祉法人全国社会福祉協議会 中央福祉学院 副部長 後藤 真一郎 氏</p> <p>⑥ オープニングステージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人平和会 いわさき認定こども園園児 ・喜友会 <p>⑦ 出店販売</p> <p>あけぼの、北上・西和賀地区障がい福祉施設製品販売連絡会、しらゆり工房、とばせ園、萩の江、ワークステーションきたかみ</p>	<p>支え合い誰もが安心して健やかに暮らせる地域社会を目指し、市民が一堂に会し、福祉向上の更なる努力を誓い合うとともに、多年にわたり社会福祉の発展に寄与された方々を顕彰し、感謝の意を表しました。</p> <p>記念講演では、我が事・丸ごとの地域づくりの考え方や地域共生社会の実現に向けた取り組みについてお話を伺いました。</p> <p>また、オープニングイベントや障がい者福祉施設の出店販売では、多様な年代の参加を増進し、多くの市民が大会や福祉に関心を持ち、参加できるよう取り組みを行いました。</p> <p>なお、大会運営には聴覚障がい者等への情報伝達として、手話通訳及び要約筆記を配置しました。</p> <p>【指標】参加者800名</p>
<p>(2) 第72回岩手県社会福祉大会</p> <p>① 期 日：元年11月1日（金）</p> <p>② 会 場：岩手県民会館（大ホール）</p> <p>③ 表 彰：6名（北上市分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県社会福祉大会長表彰 社会福祉事業功労者 2名 ・岩手県社会福祉大会長褒賞 在宅介護者 3名 ・岩手県民生委員児童委員協議会長表彰 永年勤続民生委員・児童委員 1名 	<p>県内の社会福祉関係者が一堂に会し、共に生き、共に支え合う福祉社会の実現を目指し、関係者が共通理解を深めるとともに、多年にわたり社会福祉の発展に寄与された方々を顕彰し、感謝の意を表しました。</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>3 福祉成人祝賀会</p> <p>① 期 日：2年1月12日（日）</p> <p>② 会 場：ホテルシティプラザ北上</p> <p>③ 参加者：152名（うち成人者14名、家族19名）</p>	<p>心身に障がいを持つ成人者とその家族を対象に、自立と社会参加の促進、今後の活躍を祈念し式典及び祝賀会を実施しました。</p> <p>今年度も北上市成人式と連携を図り、誘導や付添者の入場について配慮し、北上市成人式または</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
④ アトラクション：黒沢尻北小学校合唱部 ⑤ 北上市成人式または当成人祝賀会参加者 対象者31名のうち25名参加【メッセージ参加含む】（出席率81%）	当祝賀会のどちらかに参加していただく環境づくりを行いました。また、欠席者からはメッセージでの参加をいただきました。 より多くの成人者に参加していただけるよう、案内の際に前年度の写真を添え参加の一助としていただくこと、また、会場の雰囲気づくりを更に工夫します。 【指標】 出席率100%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 敬老会事業への支援【市交付金事業】 ① 実施箇所数：59地区6施設 ② 該当者：13,578名 ③ 出席者：3,912名（出席率28.8%）	各地区・地域等において、市内の75歳以上の方を対象に敬老会を開催し、敬老者に対する敬意と感謝の意を表しました。 例年同様、北上市の交付金に加え、当協議会からも助成金を交付し、各地域の特性を活かしながら創意工夫により実施していただきました。 今後も、引き続き北上市と敬老会のあり方や方向性等について協議を行います。 【指標】 出席率30%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
5 地域福祉懇談会 ① 期 間：元年6月26日～7月10日 ② 参加人数：602名 ③ 実施箇所：14カ所（地区別参加人数） ・黒沢尻北 50名 ・黒沢尻東 58名 ・黒沢尻西 26名 ・立 花 37名 ・飯 豊 44名 ・二 子 29名 ・更 木 32名 ・黒 岩 23名 ・口 内 28名 ・稲 瀬 25名 ・相 去 59名 ・鬼 柳 41名 ・江 釣 子 55名 ・和 賀 95名	北上市が策定した「第3次北上市地域福祉計画」及び当協議会が策定した「第4次北上市地域福祉活動計画」の初年度に当たり、両計画の内容等を説明するとともに、地域の福祉課題や福祉全般に関わる情報及び意見交換を行いました。 今後の福祉活動を推進する上で、参考となる意見等を聞くことができました。 【指標】 参加者650名

事業名、内容及び実績	成果や課題等
6 あいさつ運動推進事業 ① 黒東地区 実施期間：31年4月5日～4月26日 のぼり旗設置：42カ所（通学路、地区内公民館、主要道路など） ポスター掲示：55枚（各行政区掲示板、公民館）	地域のつながりを深めるため、家庭や地域で意識的に“あいさつ”を行う強化月間を設定し、隣近所との助け合い精神を醸成しました。 また、運動を推進するために必要な資機材（のぼり旗、横断幕、チラシ、ポスター）を準備し、取り組み地区をはじめ、市民に対する意識啓発に努めました。 実施地区が着実に増加してきており、計画どお

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>チラシ配布：370枚（地区内班回覧） 交流センターだよりへ掲載</p> <p>② 黒西地区 実施期間：31年4月8日～4月26日 のぼり旗設置：37カ所（地区内公民館、主要道路など） ポスター掲示：12枚（各行政区掲示板、公民館） チラシ配布：250枚（地区内回覧） 交流センターだよりへ掲載</p> <p>③ 二子地区 実施期間：元年5月1日～5月31日 のぼり旗設置：3カ所（交流センター周辺） ポスター掲示：14枚（自治会掲示板、交流センター） チラシ配布：1,100枚（全戸配布）</p> <p>④ 更木地区 実施期間：31年4月8日～5月7日 のぼり旗設置：8カ所（各行政区、小学校） ポスター掲示：20枚（自治会掲示板、交流センター） チラシ配布：40枚（地区内回覧など）</p> <p>⑤ 相去地区 実施期間：31年4月5日～5月31日 のぼり旗設置：2カ所（交流センター、企業周辺） ポスター掲示：2枚（交流センター） チラシ配布：10枚（地区内回覧など）</p> <p>⑥ 鬼柳地区 実施期間：31年4月8日～4月26日 のぼり旗設置：6カ所（各行政区、交流センター） チラシ配布：110枚（地区内回覧など）</p>	<p>り市内全域へ取り組みを拡大します。 【指標】取組地区6カ所</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>7 社協出前講座（ボランティア講師派遣事業）</p> <p>① 派遣回数：7回 ・小学校：2回 ・一般：5回</p> <p>② 参加人数：延べ443名</p> <p>③ メニュー登録数：13（H31北上市出前講座）</p>	<p>地域や学校からの要請に応じ、当協議会事業の概要や福祉・ボランティア活動等の講演を行い、福祉に関する学習や研修の支援を行いました。 今年度は、地域防災に係る研修会に講座を活用していただく等、講座を通じて、福祉やボランティア活動に対する理解が図られました。 【指標】派遣15カ所、参加人数延400名</p>

(2) 元気高齢者や退職者などの新たな担い手を視野に入れた地域福祉を担う人材の開拓と企業等とのボランティア活動の連携強化

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>1 ボランティア講座</p> <p>(1) ボランティア発見講座【基礎編】</p> <p>① 期 日：元年7月20日（土）</p> <p>② 会 場：北上市総合福祉センター</p> <p>③ 参加者：8名（高校生8名）</p> <p>④ 内 容：ボランティアについての講義 キャップハンディ体験、手話体験、ワークショップ</p> <p>(2) ボランティア発見講座【実践編】</p> <p>① 期 日：元年7月31日（水）～8月1日（木）</p> <p>② 会場等：和賀町総合福祉センター、広瀬川周辺</p> <p>③ 参加者：5名（高校生5名）</p> <p>④ 内 容：子育てサロン運営、河川清掃 ハウスクリーニング☆プロジェクト</p> <p>(3) ボランティア活動応援講座 ※中止</p>	<p>ボランティア発見講座の基礎編は、学生を対象にボランティア活動についての講話や北上市の未来を考えるワークショップを実施し、福祉やボランティア活動に対する理解を深めました。また、キャップハンディ体験や手話体験を通して、障がいを持つ方に対する接し方等を学んでいただきました。実践編では、参加者が市内のボランティア団体等が募集する活動の中から希望する活動を選択し、自主的にボランティア体験を行いました。</p> <p>今年度は、高校生だけの参加となったため、より多くの生徒に関心・興味を持っていただくよう内容や周知方法を工夫します。</p> <p>なお、一般向けに開催予定としていた「ボランティア活動応援講座」は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。</p> <p>【指標】参加者数 中高生40名、一般40名</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>2 福祉協力員事業（住民グループ支援事業） 【市委託事業（一部）】</p> <p>(1) 委嘱状交付式</p> <p>① 期 日：31年4月5日（金）</p> <p>② 会 場：さくらホール中ホール</p> <p>③ 参加者：233名</p> <p>④ 内 容：委嘱状交付、福祉協力員活動に係る事業説明</p> <p>(2) 委員会</p> <p>① 第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日：31年4月5日（金） ・会 場：北上市総合福祉センター ・参加者：10名 ・内 容：会長及び副会長の選任、監事の選任 30年度事業報告及び決算及び31年度事業計画及び予算について 総会及び全体研修会について 	<p>改選期により約半数が新任となったことから、新任者が安心して活動ができるよう、委嘱状交付式にあわせて福祉協力員の役割や活動内容等について説明を行うとともに、支部単位でも研修を行いました。</p> <p>地域福祉活動の推進役として期待される福祉協力員は、要援護者に対する見守りや訪問活動に加え、福祉サービスの利用や福祉に関する情報提供に努めるとともに、ふれあいデイサービス事業協力者や小地域ネットワーク活動構成メンバーとして、民生委員児童委員及び関係機関と連携を図りながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりを積極的に推進しました。</p> <p>また、北上市から受託している救急医療情報キット配布事業は、70歳以上の一人暮らし高齢者の新規対象世帯への配布、過年度配布済世帯の情報用紙の更新や保管状況等の確認を継続して行いました。</p> <p>【指標】充足率100%</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>② 第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日：元年6月3日（月） ・会 場：北上市総合福祉センター ・参加者：11名 ・内 容：役員研修について、情報交換 <p>(3) 総会及び全体研修会</p> <p>① 期 日：元年5月14日（火）</p> <p>② 会 場：さくらホール中ホール</p> <p>③ 参加者：205名</p> <p>④ 内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講 演 演題：「地域に笑いと生きがいを ～いつか行く道だもの～」 講師：漫談師 福々亭 ナミ子 氏 <p>(4) 役員研修会</p> <p>① 期 日：元年7月30日（火）</p> <p>② 会 場：奥州市総合福祉センター （奥州市社会福祉協議会）</p> <p>③ 参加者：11名</p> <p>④ 内 容：ご近所福祉スタッフ事業について</p> <p>(5) 訪問活動</p> <p>① 福祉協力員数：343名</p> <p>② 活動回数：延べ113,015回</p> <p>※詳細はP36参照</p>	

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>3 ボランティア活動センターの強化</p> <p>(1) 運営委員会の開催</p> <p>① 期 日：元年9月26日（木）10名出席 2年3月10日（水）12名出席</p> <p>(2) ボランティア登録者数：158名（個人）</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(3) ボランティア保険</p> <p>① 加入者数：3,384名</p> <p>② 事故件数：5件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれデイ事業周知の際、犬に噛まれた ・朗読ボランティア活動準備中、捻挫 ・公園の生垣剪定作業中、蜂に刺された 	<p>ボランティア活動を希望する方の相談に応じ、当協議会で行っているボランティア活動、福祉施設や地域で募集しているボランティア活動に関する情報提供を行い、マッチング及び登録の推進を図りました。また、各種ボランティア事業や講座を通じて地域活動への参加を促進するとともに、ボランティア個人が継続して活動ができるよう支援しました。</p> <p>【指標】ボランティア活動実践者個人150名 企業との連携3社</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>ボランティア活動の事故に備えるとともに、安心してボランティア活動ができるようボランティア保険への加入を促進しました。また、事故発生時には速やかに保険請求手続きを行いました。</p> <p>なお、発生した全ての事故のケガが完治され、保険金が支給となりました。</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭の準備中、転倒し右側頭部に裂傷 ・ふれデイ出演中、転倒し臀部打撲 	
(4) ボランティア活動情報ボード事業 ① 掲示登録団体：10団体 ② 掲示依頼枚数：12枚	情報ボード（さくらホール、生涯学習センター、総合福祉センター）を設置し、ボランティア及びNPO団体の情報発信を支援しました。
(5) 日曜大工ボランティア 活動：0件（申請依頼0件）	一人暮らし高齢者、障がい者の自宅の小修繕等に対するボランティア派遣ですが、活動件数はありませんでした。 技術を持つボランティアの確保に努め、必要な方に支援ができるよう、事業の周知を行います。
(6) 企業の地域貢献活動との連携 ① 東北緑生(株)による庭木の剪定活動 実施世帯 5世帯 ② TDK秋田(株)北上工場による保育園及び高齢者福祉施設における清掃活動 実施箇所 2カ所 ③ 東北電力(株)花北電力センターによる高齢者世帯の照明機器の清掃活動等 実施世帯 19世帯	企業からのボランティア活動や地域貢献活動の相談に応じ、支援を必要としている方や団体とのマッチングや情報提供を行いました。 また、この活動を社協だよりに掲載し、広く周知を図り、意識啓発を行いました。
(7) ボランティア登録者研修会 ① 開催日：2年2月13日（木） ② 会 場：さくらホール（中ホール） ③ 参加者：402名 ④ 講 演 演題：「ひきこもり支援から広がる地域づくり」 講師：秋田県藤里町社会福祉協議会 事務局次長 加藤 静 氏 仕事づくり部門長 門田 真 氏	ボランティア活動センター登録ボランティア等を対象に、ともに支え合う地域社会づくりの推進を図ることを目的に開催しました。 講演では、藤里町方式と呼ばれ全国でも先駆的な取り組みの様子や今後の支援のあり方等について研修し、ひきこもり支援に対する理解を深めました。 ※ふれあいデイサービス事業、ふれあいのまちづくり事業、福祉協力員事業及び生活困窮者自立支援事業と合同で実施

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 福祉人材R eスタート事業 ① 期 日：元年9月11日（水） ② 会 場：北上市総合福祉センター、 訪問介護利用者宅 ③ 受講者：1名 ④ 内 容：介護保険制度及び障がい福祉制度の講義、居宅実習	ホームヘルパー等の資格があり、結婚や出産、介護や育児等のために離職した方を対象に、現行制度の説明や居宅実習を行い、介護技術の振り返りなど再就職に向けた講座を開催しました。 引き続き、事業を通じて不足する福祉人材の確保や福祉職場への再就職を支援するとともに、岩手県社協が主催する潜在有資格者再就職支援講座に共催し、福祉人材の確保に協力します。 【指標】 受講者数5名

(3) 子供のころからの福祉教育を大切にし、各関係機関と連携強化のうえ、子供たちに福祉について“ふれる”機会を増やす

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>1 ハウスクリーニング☆プロジェクト</p> <p>① 黒北地区 実施日：元年8月7日（水） 訪問世帯：6世帯、参加者数：65名</p> <p>② 黒東地区 実施日：元年11月16日（火） 訪問世帯：3世帯、参加者数：26名</p> <p>③ 黒西地区 実施日：元年7月6日（土） 訪問世帯：12世帯、参加者数：107名 実施日：元年11月9日（土） 訪問世帯：13世帯、参加者数：100名</p> <p>④ 立花地区 実施日：元年12月1日（土） 訪問世帯：2世帯、参加者数：12名</p> <p>⑤ 更木地区 実施日：元年8月1日（木） 訪問世帯：6世帯、参加者数：85名 実施日：元年11月23日（土・祝） 訪問世帯：5世帯、参加者数：37名</p> <p>⑥ 稲瀬地区 実施日：元年8月5日（月） 訪問世帯：2世帯、参加者数：25名</p> <p>⑦ 相去地区 実施日：元年7月30日（火） 実施世帯：6世帯、参加者数：58名</p> <p>⑧ 和賀西地区 実施日：元年7月20日（土） 実施世帯：3世帯、参加者数：24名 実施日：元年7月28日（日） 実施世帯：1世帯、参加者数：19名</p>	<p>子ども達が夏休みや休日を利用し、民生委員児童委員や地域のボランティアと一緒に、一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯、障がい者世帯を訪問して家の清掃ボランティア活動を行い、活動を通して、訪問先の方や参加者同士の世代交流を深めることができました。</p> <p>今年度は、社協支部が主体となって実施した地区や行政区単位で実施した地区など、地域の状況にあわせた実施方法で取り組みを行った地区もありました。</p> <p>今後も実施地区の拡大を図るとともに、地域が主体となった取り組みとなるよう事業展開を行います。</p> <p>【指標】実施10地区</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>2 いきいきショップ☆ゆめいちば</p> <p>① いきいきショップ☆ゆめいちば実施校 専修大学北上高校</p> <p>② 事前交流学習 期日：元年8月8日（木）、9日（金） 訪問施設：あけぼの、北上アビリティセ</p>	<p>障がい者施設への訪問による事前交流や障がい者施設で作られている商品の販売を高校生と施設利用者が一緒に行い、お互いの理解を深めることができました。</p> <p>今年度は、事前交流学習において、販売当日に参加する施設利用者と高校生の交流を積極的に取り入れたことにより、更に交流を深めることがで</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>ンター、しらゆり工房、とばせ園、萩の江、北萩寮、和賀の園</p> <p>内容:施設概要等の説明、施設見学、販売商品づくり、収穫作業</p> <p>③ いきいきショップ☆ゆめいちば当日</p> <p>期 日:元年9月19日(木)～20日(金)</p> <p>場 所:さくら野百貨店南広場</p> <p>購入者数:199名</p> <p>売上金額:156,670円(2日間合計)</p> <p>協力者数:延べ27名(高校生13、施設14)</p> <p>④ 実施後意見交換会</p> <p>期 日:2年2月6日(木)</p> <p>参加者数:5名(施設4名、先生1名)</p>	<p>きました。</p> <p>一方、市内全ての高校へ事業の周知とボランティアの募集を行いました。1校だけの参加となりました。福祉やボランティア活動に興味を持っている生徒に参加いただけるよう、学校と連携を図り周知・呼びかけを強化します。</p> <p>【指標】実施 年1回</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>3 車いす修理ボランティア事業</p> <p>① 車いす修理ボランティア実施校: 黒沢尻工業高校</p> <p>② 修理車いす台数:22台</p>	<p>黒沢尻工業高校の生徒が、利用されなくなった車いすを修理・整備し、この活動を通して、福祉やボランティア活動について理解を深めることができました。</p> <p>また、社協だよりに事業を掲載し、市民への周知を図り、中古車いすや使用済み切手の寄付も呼びかけました。</p> <p>【指標】修理台数15台</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>4 児童・生徒のボランティア活動に係る情報交換</p> <p>学校・社協・地域ボランティア活動の取り組みの周知</p>	<p>各学校・社協・地域で行っているボランティア活動一覧をもとに、市内の小学校・中学校・高校に対して出前講座等で紹介しました。</p> <p>また、北上市の未来を考える「きたかみ世界塾」に参画し、参加した黒沢尻北高校の生徒とまちづくり等について意見交換等を行いました。</p> <p>【指標】アンケート調査実施(情報更新)</p>

基本目標2 地域福祉を支えるネットワークづくり

- 避難者生活支援センター事業は、訪問活動の実施やイベント等を通じて避難者同士の交流の機会を提供するとともに、災害公営住宅への入居者に係る支援を関係機関と連携しながら行いました。
- コミュニティソーシャルワーカー活動事業では、生活課題を抱える世帯を把握するため、各支部への訪問や会議を活用し実態調査を行い、今後の支援活動の強化につなげました。
- 生活支援コーディネーター活動事業では、住民主体の支え合い事業の担い手を養成する等、高齢者の生活支援の取り組みを推進しました。

(1) 生活課題を抱える誰もがSOSを出しやすく、そして地域住民や関係機関等がSOSを受け止めるネットワークとしくみづくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>1 小地域ネットワーク活動の体制強化</p> <p>(1) 通年活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ネット数：14支部、354ネット ② 中心者会議：41回開催 ③ 協力者会議：582回開催 <p>※詳細はP36～37参照</p> <p>(2) 除雪活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 対象世帯数：515世帯(ネット対象者と重複有) ② 協力者数：750名(ネット対象者と重複有) ③ 活動回数：2,058回(ネット対象者と重複有) 	<p>小地域を単位として、要援護者が安心して生活できるよう、地域の実情に応じた体制により、見守り活動や安否確認等の支援活動を行いました。</p> <p>また、一人暮らし高齢者世帯や高齢者のみ世帯が増加している中、自力で除雪を行うことが困難な方に対して、地域で除雪活動を行いました。</p> <p>なお、昨年度から北上市が実施している地域除排雪制度について、北上市と連携し改善を図りながら地域の除雪体制の支援を行いました。</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>2 避難者生活支援センター事業</p> <p style="text-align: right;">【県社協委託事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 避難者生活支援センターの設置 センター長1名、生活支援相談員2名 ② 相談活動件数：227件 ③ 状況把握活動件数：541件 ④ サロン事業 <ul style="list-style-type: none"> ・てんどの会：20回、141名 ・ふるさとカフェ：10回、57名 ・ご近所お茶っこ会：4回、15名 (黒北、黒東・黒西合同、飯豊、相去・鬼柳・江釣子・和賀合同) ・いきいき百歳体操：12回、145名 ⑤ イベント事業 <ul style="list-style-type: none"> ・施設見学ツアー：24名 ・作品展示会：来場者140名 出展者26名、作品数185点 ・うたごえ喫茶：約60名 ・いもの子交流会：58名 	<p>避難者世帯の巡回訪問、状況把握及び生活相談業務を通じ、避難者の抱える生活課題の把握や助言等を行うとともに、必要に応じて関係機関及び団体等へのつなぎや情報共有を行いました。</p> <p>また、サロン事業やイベント事業では、避難者と地域とのコミュニティー支援を意識し、地域住民にも参加していただきながら、交流や外出の機会を提供しました。</p> <p>今後は、新たに完成した災害公営住宅の入居者同士やその地域とのコミュニティーづくり、みなし仮設住宅の無償供与終了に伴う生活課題等に対して、関係機関と連携を図りながら継続して支援を行います。</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
・温泉ツアー：24名 ※詳細はP37～38参照	

(2) 社協がこれまで培ってきた小地域での福祉ネットワークを生かした地域支援体制の強化

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 コミュニティソーシャルワーカー（CSW）活動事業 ① 配置人数：4名（兼務） ② 養成研修受講者数：1名 ③ 有資格者数：10名 ④ 相談件数：12件 相談内容：生活環境、家族、生計、福祉サービス ⑤ 訪問件数：17件（清掃活動含む） ⑥ ケース検討会出席：39回 ⑦ CSW会議：19回 ⑧ その他：11件（課題解決会議、訪問見守り等） ⑨ 生活課題を抱える世帯の実態把握調査 11地区・支部で実施 （残り3地区・支部は次年度実施）	定期的にCSW会議を開催し、ケース検討や対応の進捗状況を確認・情報共有するとともに、関係機関の会議に出席し、情報収集等を行いました。 また、新たに生活課題を抱える世帯を把握するため、各支部の既存の会議を活用し実態調査を行いました。 今後も、社協だよりをはじめ機会を捉えてCSWの存在や業務内容の周知に努め、引き続き積極的に地域に出向き、課題の把握や掘り起し、解決を図ります。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 生活支援コーディネーター活動事業 【市委託事業】 ① 配置人数：1名 ② 養成研修受講者数：0名 ③ 有資格者数：1名 ④ ご近所おたすけサポーター養成講座 年4回実施、修了者数55名 ⑤ フォローアップ研修会 年1回実施、参加者数34名 ⑥ その他の活動：75件（会議、研修、訪問等）	介護予防・日常生活支援総合事業の生活支援体制整備事業の一環として、「住民主体の支え合い事業」の担い手養成講座や講座後の活動を支援するフォローアップ研修会を開催する等、担い手の育成や活動の支援を行いました。 また、北上市（第1層）とともに、今年度から新たに配置された地域包括支援センター（第2層）の生活支援コーディネーターと連携しながら、地域の課題把握や情報収集・情報共有を行いました。 今後も、高齢者の生活支援ニーズや地域課題の把握に努め、必要に応じて新たなサービスを開拓します。 【指標】養成研修受講者2名

(3) 地域内の事業所や施設、企業と一体となったネットワークによる情報共有

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 地域ふくし課題解決ネットワーク事業 ① 期 日：2年1月20日（月） ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 出席者：16名（市長寿介護課、各地域包括支援	関係事業者・団体等と連携を図り、また、地域内の課題を把握し解決するため「地域ふくし課題解決ネットワーク会議」を開催しました。 会議では、ひきこもり世帯等の実態把握調査や買い物支援資源一覧作成の進捗状況、今後の取り

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p style="text-align: center;">センター、民児協、社協職員)</p> <p>④ 内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティソーシャルワーカーの活動状況について ・ ひきこもり支援について ・ 買い物支援について 	<p>組みの方向性や効果的な活用方法等を協議・確認しました。</p> <p>なお、類似会議の調査の結果、他に類似する会議があることや新たに取り組みを進める「北上市社会福祉法人連絡会」の活用を図ることとし、今年度をもって事業を終了することとしました。</p> <p style="text-align: center;">【指標】 類似会議の調査</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>2 広域社協事業</p> <p>(1) 令和元年度北上・和賀広域社協総会</p> <p>① 期 日：元年5月28日(火)</p> <p>② 会 場：ホテルシティプラザ北上</p> <p>③ 出席者：20名(うち北上社協12名)</p> <hr/> <p>(2) 平成31年度北上・西和賀地区民生委員・児童委員研修会</p> <p>※中止</p> <hr/> <p>(3) 北上・和賀広域社協役職員研修会</p> <p>① 期 日：2年2月21日(金)</p> <p>② 会 場：湯夢プラザ(西和賀町)</p> <p>③ 出席者：28名(うち北上社協11名)</p> <p>④ 内 容：</p> <p style="padding-left: 2em;">講演：「台風19号災害における社協支援と県内の災害時相互支援協定の進捗状況等について」</p> <p style="padding-left: 2em;">講師：岩手県社会福祉協議会 地域福祉企画部長 齊藤 穰 氏</p> <hr/> <p>(4) 第34回北上・和賀地区ボランティアの集い</p> <p>① 期 日：元年11月30日(土)</p> <p>② 会 場：北上市総合福祉センター</p> <p>③ 出席者：46名(うち北上社協26名)</p> <p>④ 内 容：</p> <p style="padding-left: 2em;">報 告：「学生による“まちづくりの取り組み“について」</p> <p style="padding-left: 2em;">報告者：黒沢尻北高校生徒4名 西和賀高校生徒3名</p> <p style="padding-left: 2em;">講 演：「この町で『ずっと暮らせる、暮らしたい』をかなえる魔法のタネ」</p> <p style="padding-left: 2em;">講 師：八戸学院大学健康医療学部 教授 吉田 守実 氏</p> <p style="padding-left: 2em;">情報交換会</p>	<p>30年度事業及び決算報告、31年度事業計画及び収支予算並びに役員の改選について審議を行いました。</p> <p>また、北上及び西和賀の福祉やボランティアに関する情報交換を行いました。</p> <hr/> <p>民生委員児童委員の資質向上を図るため、県南広域振興局北上総合支局と合同で研修会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。</p> <hr/> <p>台風19号災害の被災状況や被災地支援の状況、各災害ボランティアセンターの特徴的な活動等について、また、県内広域社協間及び県社協と締結を予定している災害時相互支援協定や今までの課題を踏まえた今後の災害対応の方向性について研修しました。</p> <hr/> <p>活動報告では、両校の生徒から「きたかみ世界塾」、「西和賀町のち輝く百年創造塾」の活動の中で発見した課題や課題解決の取り組みについて報告がありました。</p> <p>講演では、地域における制度の狭間にある課題に対する支援のあり方、顔の見える関係づくりや多世代参加の地域づくり活動の重要性について理解を深めました。</p> <p>また、情報交換会では、参加者それぞれの活動の紹介やこれからのボランティア活動に必要なと思うことについて、意見交換・情報共有を行いました。</p>

基本目標3 充実した福祉サービスの仕組みづくり

- なんでも心配ごと相談センターは、市民に分かりやすく利用しやすい相談窓口として周知が図られ、定着化してきています。なお、今年度新たに出張相談を実施しましたが、相談者がありませんでしたので、事業の必要性等を検証します。
- ひきこもり支援のあり方を検討するため、北上市と連携してひきこもり支援連絡会を開催し、今後の方向性を確認・共有しました。
- 介護保険事業では、要支援認定を受けた方の介護保険から市総合事業への移行に伴う支援を行うとともに、地域包括支援センターや関係機関と連携を図りながら、生活全般にわたる援助を行い、自立した在宅生活を送ることができるよう支援しました。
- 今年度新たに北上市が設置した「北上市成年後見制度利用促進審議会」の委員として参画し、今後の制度利用促進に向けた取り組みについて関係機関等と意見交換・情報交換を行いました。
- 生活困窮者自立支援事業は、事業の周知が図られ、広く市民等から相談が寄せられており、関係機関等との連携により、相談者に対して包括的な支援を行うことができました。
- 子どもの学習支援事業や地域まるまる食堂（子ども食堂）事業は、ボランティアの協力をいただき安定した運営を行うことができました。また、事業には保護者や地域の方にも参加していただき、みんなの居場所づくりや世代間の交流を図ることができました。

(1) 必要な人に必要なサービスを届けるため、身近なところでどんなことも相談できる体制づくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>1 なんでも心配ごと相談センター事業</p> <p>① なんでも心配ごと相談センター ・北上市総合福祉センター 月曜日～金曜日 9:00～17:00 (司法書士相談) 毎月第2、4木曜日 13:00～16:00</p> <p>② 開設日数：240日</p> <p>③ 相談人数：370人（うち司法書士相談6回、8人）</p> <p>④ 相談件数：延べ1,008件</p> <p>※詳細はP39参照</p>	<p>市民が抱える日常生活の様々な相談に対し、解決へのアドバイスや専門機関及び関係機関への紹介を行いました。</p> <p>無料司法書士相談では、専門的な法律相談を行うことで、複雑多岐にわたる相談ニーズに対応することができました。</p> <p>福祉総合相談窓口として市民にも周知が図られてきており、コミュニティソーシャルワーカーや暮らしの自立支援センターと連携しながら、相談支援にあたりました。</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>2 なんでも心配ごと出張相談事業</p> <p>① 口内地区 期 日：元年10月29日（火） 相談者：なし</p> <p>② 飯豊地区 期 日：元年11月8日（金） 相談者：なし</p>	<p>市民が抱える日常生活の様々な相談に対し、身近な場所で相談することができるよう出張相談会を実施しましたが、事前予約はなく、当日の相談者もありませんでした。</p> <p>事業の周知方法や必要性について検証します。</p> <p>【指標】 出張相談会 年2回</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>2 相談員スキルアップ事業</p> <p>① 開催回数：5回</p> <p>② 内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協貸付け事業について ・相談支援にあたっての生活困窮者システムについて ・住居確保給付金及び社協に係る生活困窮者支援について ・相談者に寄り添った相談支援について ・引きこもり者に対する相談員としての心構えについて <p>③ 参加人数：延べ55名</p>	<p>相談員の資質向上を図るため、内部研修を実施し、相談員として必要な知識を広く学ぶことができました。</p> <p>今後は、当協議会相談員に加え、関係機関の相談員にも対象を拡大して実施します。</p> <p>【指標】内部研修会 年3回</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>4 トータルガイドブック作成事業</p> <p>北上市内の民間も含めた関連サービスを整理した冊子を作成しています。</p>	<p>あらゆる相談への適切な対応や専門機関への橋渡しを行うため、北上市内の民間も含めた関連サービス(フォーマル・インフォーマルサービス)を集約・整理したトータルガイドについて、関係機関へ配布及び当協議会ホームページに掲載し、周知を図りました。</p> <p>【指標】配布先等の検討</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>5 ひきこもり等支援事業</p> <p>① ひきこもり支援連絡会開催：7回</p> <p>② 先進地視察研修：1回(秋田県大仙市)</p> <p>③ ひきこもり支援に関するフォーラム等への参加：随時</p>	<p>関係機関と連携しながら、ひきこもり支援連絡会を定期的に開催し、今後の支援の方向性や連携・協力体制等について協議を行いました。</p> <p>また、北上市と一緒に先進地視察を行い、取り組み内容や課題について学ぶことができました。</p> <p>今後も、北上市と連携しながら、ひきこもり支援に必要な事業等を研究し実施します。</p>

(2) すべての人にとって偏りのないサービスの充実を図るため、新たなサービスの開拓と既存サービスの随時見直し

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>1 日常生活自立支援事業・成年後見推進支援事業【県社協委託事業】</p> <p>① 専門員及び生活支援員数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門員 2名、生活支援員 13名 <p>② 北上基幹社協管内生活支援員会議等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援員会議 4回 	<p>金銭管理の難しい認知症高齢者及び障がい者等から預貯金通帳や印鑑を預かり、公共料金の支払いの手続き、生活費の払い戻し等のサービスと福祉サービスを利用するために必要な手続き等を支援しました。</p> <p>契約件数の増加傾向や利用者及び関係機関からの相談件数の増加、臨時支援も頻回していること</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
(下記会議と合同開催含む) ・管内社協事務局長会議 1回 ・管内関係機関連絡会議 1回 ③ 契約件数及び支援状況等 ・契約件数(今年度)：11件 ・契約件数(累計)：128件(支援中60件) ・専門員訪問回数：218回 ・支援員支援回数：940回 ※詳細はP39参照	から、平成31年度から専門員を1名増員し、支援体制の充実を図りました。 また、成年後見制度の普及啓発と利用促進を図るため、引き続き相談窓口の設置や社協だより掲載による普及啓発を行いました。 利用者に対して適切な支援を実施する上で、行政、医療機関及び障がい者相談支援事業所等の関係機関との情報共有、連携強化に努めます。

④ 契約件数(市町別)

	令和2年3月末日 実利用者	契約件数
北上市	41	100
西和賀町	19	28
計	60	128

⑤ 契約件数(対象者別)

事 項	契約者					合計	うち 生活保護
	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他			
契約件数	74	34	18	2	128		
実利用者	22	25	13	0	60	14	

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 福祉用具貸与事業(無料) (1) 車いす ① 利用者数：延べ73名 ② 保有台数：20台 (2) チャイルドシート ① 利用者数：32名 ② 保有台数：43台(うち寄付台数：27台)	車いすの貸与は、障がい者や高齢者とその家族との外出等に利用され、社会参加の促進につながりました。 また、チャイルドシートの貸与について、今年度は多くの寄付をいただき、利用希望者に対して安定した貸出しをすることができました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 在宅高齢者等配食サービス事業【市委託事業】 ① 利用登録者数：45名 ② 配食日数：193日 ③ 提供食数：延べ3,108食 ④ 調理ボランティア人数：延べ689名 ⑤ 配送ボランティア人数：延べ1,117名 ※詳細はP40参照	在宅で調理の困難な一人暮らし高齢者、高齢者だけの世帯に対して、調理及び配送ボランティアの協力をいただき、栄養のバランスが取れた食事の提供、安否確認及び孤独感の軽減を図りました。 また、季節に応じた献立作成や、保育園給食の献立と当献立を交換して提供し、園児と高齢者がお互いに食べることの楽しみと関心を高めました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>4 日常生活関連動作訓練事業【市委託事業】 (食生活改善推進員協議会へ業務委託)</p> <p>① 介護予防料理教室実施回数:137回 ② 参加人数:延べ1,845名(参加率33.2%)</p>	<p>日常生活動作の中の炊事に重点を置き、食生活のポイント等を実際の調理を交えながら指導し、食の面から介護予防、自立生活を支援しました。</p> <p>調理実習では、混ぜる、こねる作業等を通して改めて調理する楽しさを感じてもらえるように工夫するとともに、参加者で分担を行い、調理・配膳・片付けに可能な範囲で一緒に参加していただきました。</p> <p>また、今年度も口腔体操を掲載したパンフレットを作成し、栄養面だけではなく、嚥下能力の維持向上についても啓発を行いました。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症対策のため1地区が中止となりました。</p> <p>【指標】参加率40%</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>5 北上おげんき発信事業</p> <p>利用登録者数:16名 ※詳細はP40参照</p>	<p>見守りが必要な高齢者等を対象に、毎日の電話での安否確認による見守りを行い、不安の解消につなげました。</p> <p>また、安心して在宅生活を継続することができるよう、必要に応じて利用者の状態等を家族やケアマネジャー、民生委員と情報共有を行いました。</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>6 障がい者等生活支援事業【市委託事業】</p> <p>① 期 日:2年2月14日(金)、19日(水)、28日(金) ② 会 場:北上市総合福祉センター ③ 講 師:北上市健康増進課 堀田 紋世 氏 GYOTEN 長岡 務 氏 OLLANO 菅原 聖希 氏 ④ 参加者:延べ15名</p>	<p>視覚障がい者の自立生活を支援することを目的に、市内の飲食店の方等を講師に招き、イタリアンや居酒屋メニューなど多彩な献立による料理教室を開催しました。</p> <p>今後も、北上市障がい者プランに留意しながら、当事者のニーズの把握に努め、内容を充実します。</p> <p>【指標】参加者10名</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等																
<p>7 声の広報作成事業及び点字広報作成事業【市委託事業】</p> <p>(1) 声の広報作成事業</p> <p>① 朗読内容及び回数</p> <table border="0"> <tr> <td>広報きたかみ</td> <td>24回</td> <td>福祉だより</td> <td>9回</td> </tr> <tr> <td>市議会だより</td> <td>4回</td> <td>敬愛園だより</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>ふれあい119</td> <td>2回</td> <td>物故者</td> <td>24回</td> </tr> <tr> <td>交流会案内</td> <td>1回</td> <td>市衛連だより</td> <td>1回</td> </tr> </table>	広報きたかみ	24回	福祉だより	9回	市議会だより	4回	敬愛園だより	12回	ふれあい119	2回	物故者	24回	交流会案内	1回	市衛連だより	1回	<p>広報きたかみや福祉だより等の掲載内容を声の広報(CDまたはカセットテープに録音)として作成し、視覚障がい者に情報提供しました。</p> <p>また、録音した声の広報をボランティア会員内で確認し、音読の速さや発音等の技術の向上に努めました。</p>
広報きたかみ	24回	福祉だより	9回														
市議会だより	4回	敬愛園だより	12回														
ふれあい119	2回	物故者	24回														
交流会案内	1回	市衛連だより	1回														

事業名、内容及び実績	成果や課題等
月刊さくらホール 12回 ふれあいハイキング案内 1回 視覚障がい者料理教室案内 1回 ② 総発送数：延べ995回 ③ 利用者数：19名、3施設 ④ 朗読団体：サークルのぎく 12名 サークルせきれい 11名	
(2) 点字広報作成事業 ① 点訳内容及び回数 広報きたかみ 24回 ② 総発送部数：48部 ③ 利用者数：2名 ④ 点字作成団体：北上点訳の会 18名 ⑤ 点訳勉強会 ・期 日：元年8月28日（水） 元年10月16日（水） 元年12月18日（水） 2年2月19日（水） ・会 場：北上市総合福祉センター ・参加者：延べ35名	広報きたかみを点訳し、点字広報として視覚障がい者に情報提供しました。 また、点訳の会に例会で勉強会を開催し、技術の向上に努めました。
(3) 声の広報・点字広報利用者とボランティアの交流会 ① 期 日：2年2月27日（木） ② 会 場：北上パークホテル ③ 参加者：27名（利用者4名、ボランティア等23名） ④ 内 容：オカリナ演奏「フェリーチェ」 情報及び意見交換	声の広報、点字広報利用者と音声訳・点訳のボランティアが一堂に会し、日ごろの活動の様子や工夫していること等について情報交換や意見交換・共有を図り、交流と親睦を深めました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
8 居宅介護支援事業 契約者数：37名 ※詳細はP40参照	要介護者の心身の特性を踏まえ、個人の保有能力、介護者の介護力等の評価等を行いながら、介護支援計画を作成するとともに、その都度必要なサービスの見直しを行いました。また、現状のサービス量が不足する利用者に対しては、早期に区分変更するなど適切な援助を行い、利用者や家族が安心して在宅生活が継続できるよう支援しました。しかし、利用者の家族が急逝するケースも複数あったことから、利用者だけではなく、介護者の介護負担の軽減はもとより健康状態の観察等にも配慮しながら、家族全員が安心して生活できるよう支援することも必要です。 このことから、北上市の地域包括ケアシステムや障がい福祉サービス事業者等と更に連携を図

事業名、内容及び実績	成果や課題等
	り、利用者のニーズに対応できるよう支援します。 【指標】継続実施

事業名、内容及び実績	成果や課題等
9 障がい者相談支援事業 契約者数：34名 ※詳細はP41参照	障がい者や保護者、介護者等の相談に応じ、利用者が希望する生活を実現するため、必要なサービスの情報提供や社会資源を活用しながら利用者の抱える課題解決を行い、社会生活力の向上に向けて障がいの特性に沿ったサービス等利用計画を作成しました。また、今年度は地域包括支援センター主催のケアに関する研究会に参加し、高齢障がい者が介護保険を利用する際の支援方法や、制度の狭間にいる高齢障がい者が介護保険に移行する際の連携等について医師や看護師等と情報共有を行いました。 引き続き、障がい者が自立した生活を送ることができるよう、医療機関や障がい福祉施設と連携し、北上市障がい者プランに沿った事業を実施するとともに、高齢障がい者の介護保険制度へのスムーズな移行など切れ目なくサービスが利用できるよう支援します。 【指標】継続実施

事業名、内容及び実績	成果や課題等
10 訪問介護事業 (1) 訪問介護事業（介護保険） ① 契約者数：21名 ② 利用者数：延べ256名 ③ 派遣回数：3,184回 ※詳細はP41参照	要介護者が自立した日常生活を送ることができるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行い、利用者に関わるケアマネジャー、地域包括支援センター、医師及び訪問看護師等の他職種・他事業所との連携を図り、在宅での生活を支援しました。 なお、高齢化の進行が一層加速し、サービス量の増加が見込まれる中で、全国的にも介護人材が慢性的に不足となっており、当事業所としても訪問介護員の増員・採用が困難なため、募集方法の見直しが必要です。 【指標】継続実施
(2) 障害者訪問介護事業（障害者総合支援法） ① 契約者数：34名 ② 利用者数：延べ308名 ③ 派遣回数：3,052回 ④ 同行援護従業者養成研修 ・元年6月11日～13日（一般課程）修了者12名 ・元年6月17日～18日（応用課程）修了者11名	障がい者が自立した日常生活を送ることができるよう、一人ひとりの心身の状況に応じて、身体介護、家事援助、通院介助、同行援護、その他生活全般にわたる援助を行い、在宅での生活を支援しました。 また、視覚障がい者に対する外出等の移動支援の充実を図るため、継続して同行援護従業者養成

事業名、内容及び実績	成果や課題等
※詳細はP41参照	研修を実施し、県内の介護サービス事業所等で勤務する同行援護従業者を養成しました。 【指標】継続実施

事業名、内容及び実績	成果や課題等
11 障害者等移動支援事業(障害者総合支援法) ① 契約者数：10名 ② 利用者数：延べ29名 ③ 派遣回数：52回(買物、趣味活動等) ※詳細はP42参照	障がい者の外出及び余暇活動等の移動を支援しました。 なお、身体障害者手帳保持者数と比較して利用者が少ないことから、社協だより・ホームページへの掲載やチラシを作成し医療機関に配付する等、事業を必要とする方に周知を図り、サービスの利用につなげます。 【指標】継続実施

事業名内容及び実績	成果や課題等
12 成年後見利用支援事業 受任者数：2名(後見人1名、保佐人1名)	認知症、知的障がい、精神障がい等で判断能力の不十分な方が、日常生活を送る上で契約や財産管理について不利益を被ることがないように、当協議会が成年後見人として、受任者の生活を支援しました。 また、北上市が設置した「北上市成年後見制度利用促進審議会」の委員として参画し、今後の制度利用促進に向けた取り組みについて関係機関等と意見交換・情報交換を行いました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
13 訪問理美容事業 ① 利用者実数：29名 ② 利用回数：45回(理容店41回、美容店4回)	外出が困難な寝たきり高齢者や重度障がい者の希望者に対し、岩手県理容及び美容生活衛生同業組合北上支部や民生委員児童委員の協力を得て、自宅を訪問し理容・美容(整髪)を行いました。 事業を必要とする方が利用できるよう、社協だよりや支部活動を通じて周知を行います。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
14 住まいの片づけ応援事業 ① 第1回 ・期 日：元年7月31日(水) ・活動人数：21名 ・連携機関：子育て支援課、環境政策課 ② 第2回 ・期 日：元年10月23日(水) ・活動人数：10名 ・連携機関：子育て支援課、環境政策課	自宅または敷地内にごみが放置され、生活に支障がある世帯を対象に、地域や近隣との関係を構築しながら、地域で安心して生活することができるよう生活環境の改善を支援しました。また、今年度は、支援に係る手順等のマニュアルの整備も行いました。 今後も、実態把握調査を活用し、地域の協力をいただきながら支援を行います。 【指標】随時実施、実態把握調査の実施

(3) 同じ悩みを抱えている人、目的をもった人同士の集まりの場づくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>1 ふれあいデイサービス事業【市委託事業】</p> <p>① 開設行政区：125行政区 ② 開設ふれデイ箇所：138箇所 ③ ふれデイ利用者数：延べ21,307名 (参加率24.9%) ④ ふれデイ協力者数：延べ9,173名 ※詳細はP42参照</p>	<p>地域の自治公民館等を会場に、高齢者の介護予防活動(趣味活動、レクリエーション活動等)を実施し、高齢者の生きがいづくりや社会参加、孤独感の軽減等を図ることができました。</p> <p>今後も、介護予防の効果的な事業展開のあり方を研究するとともに、幅広い世代が集う地域づくりの場としての活用を検討します。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症対策のため北上市からの要請に基づき、2月から3月は中止等の自粛を呼びかけました。</p> <p>【指標】参加率30%</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>2 障害者地域活動支援センター事業 【障害者総合支援法】</p> <p>① 創作活動及び機能訓練：8教室 ② 契約者数：50名 ③ 開催回数：184回 ④ 利用者数：延べ916名 ⑤ 展示会：元年12月6日(金)～8日(日) ⑥ 障がい者福祉展への出展： 元年9月29日(日)、手芸・書道・園芸の各教室 ※詳細はP42参照</p>	<p>障がい者の自立の促進、生活の向上が図られるよう、通所による創作活動及び機能訓練のサービス提供を行い、障がい者の社会参加と福祉の増進を図りました。</p> <p>利用者の固定化・高齢化により、教室によっては少数での開催となっており、利用者の意向を確認しながら教室の種類や内容等を見直します。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症対策のため3月は中止しました。</p> <p>【指標】契約者数60名</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>3 障がい者リフレッシュ事業</p> <p>① 第1回(ハイキング) ・期 日：元年5月24日(金) ・行き先：ビッグルーフ滝沢、盛岡手づくり村、つなぎ温泉ホテル紫苑 ・参加者：34名</p> <p>② 第2回(交流会) ・日 時：元年10月11日(金) ・会 場：展勝地レストハウス ・参加者：30名</p>	<p>ハイキングでは、滝沢市の交流拠点複合施設の見学や買い物を楽しみ、昼食はホテルのおいしい食事を堪能しました。</p> <p>また、交流会では北上市出前講座「トラブルすごろく」で、日常生活で起こり得るトラブルの対処方法をゲーム感覚で学びました。</p> <p>今後も、参加者の身体状況等に配慮しながら、行き先の選定等を行います。</p> <p>【指標】行事開催 年2回</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>4 子育て支援事業</p> <p>(1) 子育てサロン</p> <p>① 開催回数：10回【毎月1回(第3木曜日、10時から正午)】</p> <p>② 会 場：北上市総合福祉センター</p> <p>③ 参加者数：延べ214名</p> <p>④ ボランティア活動人数：延べ64名</p> <p>(2) 子育て用品お譲り会</p> <p>※中止</p> <p>※詳細はP43参照</p>	<p>子育て支援ボランティア「パレット」と協働で、乳幼児と保護者を対象に【あそびのお部屋】を開設し、親子遊びや情報交換、育児相談等を通じて、子育ての不安や悩みを軽減しました。</p> <p>なお、子育て用品お譲り会は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。</p> <p>【指標】サロン開催 月1回 子育て用品譲渡会開催 年1回</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>5 ひとり親世帯ネットワーク事業</p> <p>① 第1回 (バスハイク)</p> <p>・期 日：元年7月27日 (土)</p> <p>・行き先：仙台市天文台、仙台泉プレミアム・アウトレット</p> <p>・参加者：30名 (親13名、子ども17名)</p> <p>② 第2回 (サンドブラスト体験)</p> <p>・期 日：元年11月23日 (土)</p> <p>・会 場：北上市総合福祉センター</p> <p>・参加者：6名 (親3名、子ども3名)</p> <p>・講 師：体験工房「森のくに」 支配人 内田 大輔 氏</p>	<p>ひとり親世帯(母子・父子家庭等)を対象に、行事の開催を通じて親子のふれあいやひとり親家庭相互の交流を深めました。</p> <p>バスハイクでは、天文台で惑星模型の観賞やアウトレットでの買い物を楽しみました。</p> <p>サンドブラスト体験では、親子一緒にオリジナルグラスの製作を通して、ふれあいを持ちました。</p> <p>今後も、対象者のニーズを把握しながら、事業内容の充実を図ります。</p> <p>【指標】集い等行事实施 年2回</p>

内容及び実績	成果や課題等
<p>6 出合いの場づくり事業</p> <p>(1) 県南広域圏結婚支援関係団体等連絡会議</p> <p>① 期 日：元年12月12日 (木)</p> <p>② 会 場：奥州地区合同庁舎分庁舎</p> <hr/> <p>(2) 婚活イベントの開催</p> <p>① 第1回</p> <p>・期 日：元年8月24日 (土)</p> <p>・会 場：ホテルシティプラザ北上</p> <p>・参加者：男性14名、女性8名 (対象年齢：25歳以上34歳までの男女)</p> <p>・内 容：自己紹介タイム、バーベキュー &フリータイム、カップル発表、 アプローチカード交換</p> <p>・カップル成立数：5組</p>	<p>県南広域圏において結婚・出産・子育てを支援している団体等の取り組みの情報交換・意見交換を行いました。</p> <p>他の団体の取り組みも参考にしながら、事業を推進します。</p> <p>結婚活動の支援として男女の出合いの場を提供しました。</p> <p>今年度は、新たに女性参加者を対象に早期申込割引を実施し、女性の参加者拡大・申込みに効果がありました。</p> <p>今後も、参加者アンケート等を参考に実施時期や内容を検討し、事業の充実を図ります。</p> <p>【指標】イベント実施 年3回 各団体との意見交換会</p>

内容及び実績	成果や課題等
<p>② 第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日：元年9月21日（土） ・会 場：ホテルシティプラザ北上、 ボウリング・クオリア（奥州市） ・参加者：男性6名、女性3名 （対象年齢：45歳以上60歳までの男女） ・内 容：自己紹介タイム、ボウリング、 食事&フリータイム、カップル発表、アプローチカード交換 ・カップル成立数：1組 <p>③ 第3回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日：元年11月29日（金） ・会 場：カフェ&イタリアンOLLANO ・申込者：男性19名、女性18名 （対象年齢：35歳以上44歳までの男女） ・内 容：自己紹介タイム、食事&フリータイム、カップル発表、アプローチカード交換 ・カップル成立数：5組 	

(4) 生活困窮者等に対する包括的支援と対応の強化

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>1 生活困窮者自立支援事業 （自立相談支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業、子どもの学習支援事業） 【市委託事業】</p> <p>① 暮らしの自立支援センターきたかみ設置 主任相談支援員1名、相談支援員兼就労支援員3名、学習相談支援員1名</p> <p>② 相談者実数：202名</p> <p>③ 相談申込（同意）者数：88名</p> <p>④ プラン策定者数：41名（再プラン5名含）</p> <p>⑤ 相談方法及び内容</p> <p>※詳細はP43～44参照</p>	<p>相談者に対しては、関連する事業・サービス等を組み合わせながら包括的な支援を行っておりますが、相談内容が複雑化してきていることから、更に関係機関と連携した対応が必要です。</p> <p>今後も、支援を必要とする方を広く把握するため、事業の周知やアウトリーチ（訪問活動）を積極的に行い、生活困窮者の自立に向けて包括的・伴走型の支援を行います。</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>西和賀町生活困窮者自立支援事業 (自立相談支援事業、家計改善支援事業) 【県委託事業】</p> <p>① 相談支援員 1名 ② 相談者実数：16名 ③ 相談申込（同意）者数：4名 ④ プラン策定者数：6名（再プラン2名含） ⑤ 相談方法及び内容 ※詳細はP44～45参照</p>	<p>今年度から新たに家計改善支援事業も受託し、西和賀町に居住する生活困窮者の自立の促進を支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施しました。</p> <p>なお、業務の一部を西和賀町社会福祉協議会に再委託し、暮らしの自立支援センターきたかみ相談支援員と連携を図りながら、きめ細やかな支援に努めました。</p> <p>今後も、支援を必要とする方を広く把握するため、事業の周知やアウトリーチ（訪問活動）を積極的に行い、生活困窮者の自立に向けて包括的・伴走型の支援を行います。</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>2 フードバンク運営事業</p> <p>① 寄付件数：248件（うちフードポスト62件） ② 提供件数：183件 ※詳細はP46参照</p>	<p>なんでも心配ごと相談センターや暮らしの自立支援センター等への相談者のうち、緊急に食料支援の必要な生活困窮者世帯へ支援を行いました。</p> <p>食料を提供することにより、現金の貸付を受けなくても当面の生活維持が可能となり、生活困窮者の負担軽減につながりました。</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>3 子どもの学習支援事業【市委託事業】</p> <p>① 開催回数：48回 ・毎月第1及び第3木曜日17:00～19:00 ・毎月第2及び第4土曜日10:30～14:30 ・夏休み及び冬休み各5日10:30～14:30 ② 会 場：北上市生涯学習センター 北上市総合福祉センター ③ 登録者数：40名（小学生28名、中学生12名） ③ 参加者数：延べ389名 ④ ボランティア活動人数：延べ197名 ※詳細はP46参照</p>	<p>家庭の事情や経済的な理由等で学習する環境が十分でない子どもたちを対象に、学習支援ボランティアの協力を得て学習支援と学習の場（居場所づくり）の提供を行いました。</p> <p>また、今後の事業の参考とするため登録児童・生徒と保護者に対するアンケート調査を行ったことから、結果を検証し事業のあり方等を研究します。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症対策のため3月は中止しました。</p> <p>【指標】 定期開催実施 週1回 長期休業中実施 年2回</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>4 地域まるまる食堂（子ども食堂）事業</p> <p>① 開催回数：10回 ② 会 場：北上市生涯学習センター ③ 参加者数：延べ351名 (小学生97名、中学生20名、保護者等63名、地域住民等88名、ボランティア83名)</p>	<p>学習支援事業にあわせて「地域まるまる食堂」（子ども食堂）を実施しました。</p> <p>子どもだけではなく、保護者や地域の方にも参加していただき、みんなの居場所づくりや世代間交流を行うことができました。</p> <p>今後もより多くの子ども達や地域の方々が参加できるよう、会場や内容等を検討しながら実施し</p>

事業名、内容及び実績	成果や課題等
④ 内 容：あそびの時間、まなびの時間、 食堂開設 ⑤ 地域の開設支援：なし ※詳細はP46～47参照	ます。また、地域において子ども食堂を開設する際の支援を行います。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
5 たすけあい資金貸付事業 ① 貸付状況：31件、 528,000円 ② 償還状況：47件、 384,000円 ③ 貸付残高：82件、2,059,000円 ※詳細はP47参照	低所得世帯等に生活費や応急的な費用を無利子で貸付けしました。 生活困窮者自立支援事業と連携を図るとともに、フードバンク運営事業とあわせ迅速かつ効果的に対応しました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
6 生活福祉資金貸付事業 (実施主体：岩手県社協、相談窓口：当協議会) ① 貸付状況： 36件、 17,789,500円 ② 償還状況：延べ3,647件、 28,103,332円 ③ 貸付残高： 640件、371,031,539円 ※詳細はP48～51参照	低所得世帯、障がい者世帯及び介護を要する高齢者が同居する世帯等に対し、修学資金や生活費等の資金を低利子(一部無利子)で貸付けしました。なお、資金借受世帯のうち自立支援が必要な世帯については、生活困窮者自立支援事業と連携しながら支援を行いました。

基本目標4 暮らしやすい地域環境づくり

- 地域福祉活動応援事業では、地域福祉を推進する先進的な活動等を行う団体に対して助成を行い、地域福祉活動を応援しました。
- 災害ボランティアセンター事業では、台風19号災害発災に際し、普代村社協へ職員の出遣を行いし、災害ボランティアセンターの設置運営を支援しました。

(1) 子どもからお年寄りまで地域で生活するうえでの環境面の不安の解消と、安心して過ごせるまちづくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 支え合いマップ作成事業 ① 作成済地区：22地区	地域で見守りが必要な要援護者と地域内の社会資源等との関わりが一目で分かるようマップの作成を支援しています。 今後も、マップを作成する利点や活用方法を周知し、新規作成地区の拡大を図るとともに、作成したマップの更新作業の支援を行います。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 北上市救急医療情報キット配布事業 【市委託事業】 ① 新規対象世帯数：207世帯 ② 新規配布世帯数：217世帯 ③ 配布済世帯数（累計）：2,890世帯 ※新規配布世帯数及び累計には、過年度対象世帯で今年度配布した100世帯を含みます。	高齢者等への緊急時の迅速かつ適切な医療活動を円滑に実施するため、市内の70歳以上の一人暮らし高齢者を対象に配布しました。配布作業は、福祉協力員が民生委員児童委員の協力をいただきながら行い、世帯状況の把握や支援の必要性等の情報収集も兼ねて行いました。 また、過年度配布済世帯の情報用紙の更新や保管状況の確認等、フォローアップも行いました。 【指標】令和5年度までに3,400個配布（市目標値）

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 買い物支援事業 市内の買い物に係る事業者等の一覧作成	買い物支援に関わるサービスや社会資源等の現状把握を行うため、市内（近隣市町村も含む）で買い物支援に取り組む事業者等の情報収集を行い、一覧を作成しました。 今後は、その一覧を精査し、高齢者をはじめ必要と思われる方々や関係機関等へ配布するとともに、引き続き、買い物支援事業のあり方を研究します。 【指標】ニーズ調査、実施に向けた検討

内容及び実績	成果や課題等
4 ふれあい移送サービス事業 ① 移送車両：2台（軽自動車） ② 利用登録者数：138名	既存の公共交通機関を利用できない高齢者や身体障がい者等に通院の移送サービスを提供し、生活支援を行いました。 今後も、サービスを必要とする方が利用できる

内容及び実績	成果や課題等
③ 利用人数：延べ266名 ④ 運転ボランティア人数：延べ262名 ⑤ 介助ボランティア人数：延べ 1名 ⑥ 新規ボランティア登録人数： 2名 ※詳細はP52 参照	よう周知を図るとともに、新規ボランティアの確保を行い、安定した事業運営に努めます。 【指標】 充足率100%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
5 あんしん生活応援講座 様々な不安を抱えながら生活する一人暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯に対し、不安を少しでも解消できるよう、必要な情報(介護保険や各種サービスの利用方法、遺言や相続等)を提供する講座を開催し、生活を応援します。	3月のふれあいデイサービスでの試行実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 健康や介護など高齢者に身近で関心の高いテーマ・内容を検討し実施します。 【指標】 実施回数 年3回

事業名、内容及び実績	成果や課題等
6 地域福祉活動応援事業 ① 助成団体：2団体（新規2） ・キッチンすまいるの会 ・注文のやんべな料理店プロジェクト ② 助成金額：200,000円（1団体100,000円）	地域福祉を推進する先進的な活動や地域の新たな福祉課題に取り組む活動等を行う団体に対して助成を行い、地域福祉活動を応援しました。 新規5団体への助成を予定しており、応募に関する相談はあったものの、最終的には申請のあった2団体に対する助成となりました。 必要とする地域・団体等に活用いただけるよう更に周知を行い、事業の認知度向上を図るとともに先進的な活動の発掘を行います。 【指標】 5団体助成（500,000円）

事業名、内容及び実績	成果や課題等
7 災害ボランティアセンター事業 ① 市町村社協災害時相互支援協定の締結 ・締結先：西和賀町社会福祉協議会 ・締結日：令和元年5月27日 ② 災害対応初動チームへの登録 県内の大規模災害発生時に、被災地や被災地社協の状況把握等の支援を行うため、災害初動対応チームに当協議会職員2名を登録しています。 ③ 台風19号災害に係る普代村社協への支援 ・期 間：元年10月19日（土）～11月4日（月）【17日間】 ・場 所：普代村災害ボランティアセンター	北上市内で災害が発生し、単独では十分な支援活動が困難な場合に備え、広域社協内で相互支援協定を締結し、相互支援体制を強化しました。併せて、県内全ての広域社協間及び県社協と協定を締結し、更に連携の強化を図りました。 台風19号災害においては、普代村社協へ職員を派遣し、災害ボランティアセンター設置運営の支援を行いました。また、被災地でのボランティア活動を希望する市内団体のボランティアバスの運行支援を行いました。 北上市で災害が発生した場合に備え、災害ボランティアセンターの設置訓練の実施及び北上市や関係団体等との連携強化を図ります。 【指標】 設置・運営訓練実施、

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数：7名（延べ23名） ・支援内容：災害ボランティアセンター運営業務（立上げ支援、受付・送迎等） ・その他：北上・和賀広域社協連絡協議会として、西和賀町社協と合同で派遣 ④ ボランティアバスの運行支援 <ul style="list-style-type: none"> ・運行団体：いわてNPO-NETサポート、黒沢尻北高校 ・運行日：令和元年10月22日、10月26日、11月2日、11月3日 ※10月22日は荒天のため中止 ・参加者数：延べ40名 ※中止した10月22日は11名参加予定 ・支援内容：現地災害ボランティアセンターとの連絡調整、参加者募集に係る周知協力、駐車場の貸出し、運行に係る補助金の情報提供 	<p style="text-align: center;">災害発生時の職員派遣</p>

(2) すべての人が、支援が必要な人を理解することができる地域づくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
<p>1 社協出前講座（病気及び障がい理解編）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 派遣回数：15回 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校：8回 ・中学校：1回 ・一般：6回 ② 参加人数：延べ679名 	<p>北上市出前講座のメニューに病気及び障がい理解編の講座を登録し、学校や団体等からの要請に対応しています。</p> <p>今年度は、小・中学校、介護予防・日常生活支援総合事業における住民主体の支え合い事業へ取り組む方を対象とした講座（ご近所おたすけサポーター養成講座）、地域の防災組織の避難訓練に講師を派遣し、ボランティアの基礎知識や障がいを持つ方への接し方等について講義を行い、理解を深めました。</p> <p style="text-align: center;">【指標】派遣18回、参加人数延1,000名</p>

5 地域福祉を推進するための基盤づくりの強化

- 理事会及び評議員会等の各種会議開催を通じて、地域課題や事業等に対する意見等を聞きながら、その改善に努め、更なる経営の活性化に努めました。
- 北上市社会福祉法人連絡会の組織化に係る研究会を開催し、連絡会設立の賛同をいただき設立総会の開催準備を行いました。（設立総会は新型コロナウイルス感染症対策のため9月までを目途に延期）
- 福祉関係者・団体、民間の福祉サービス提供事業者及び行政機関と協働、協力を得ながら地域福祉を推進しました。
- 当協議会の事業を推進するため、市内各世帯等から会費や寄付の協力をいただき、事業の推進や運営に活用しました。
- 第4次北上市地域福祉活動計画の初年度に当たり、平成31年度の指標の達成に向けて事業活動を実施しました。

(1) 社会福祉協議会の運営

① 三役会議の開催状況

開催期日及び出席者数	
第1回：31年4月15日（月） 出席者 10名（役員4名、職員6名）	第7回：元年10月15日（火） 出席者 10名（役員4名、職員6名）
第2回：元年5月15日（水） 出席者 11名（役員4名、職員7名）	第8回：元年11月15日（金） 出席者 8名（役員3名、職員5名）
第3回：元年6月6日（木） 出席者 11名（役員4名、職員7名）	第9回：元年12月16日（月） 出席者 11名（役員4名、職員7名）
第4回：元年7月16日（火） 出席者 10名（役員4名、職員6名）	第10回：2年1月14日（火） 出席者 10名（役員3名、職員7名）
第5回：元年8月19日（月） 出席者 10名（役員4名、職員6名）	第11回：2年2月17日（月） 出席者 11名（役員4名、職員7名）
第6回：元年9月17日（火） 出席者 11名（役員4名、職員7名）	第12回：2年3月9日（月） 出席者 11名（役員4名、職員7名）

② 理事会の開催状況

開催期日	議題及び協議事項
第1回 ・31年4月2日（火） ・出席者 理事10名 監事3名	(1) 北上市社会福祉協議会非常勤職員取扱要領の一部改正について (2) 北上市社会福祉協議会臨時的任用職員取扱要領の一部改正について (3) 北上市社会福祉協議会常務理事の選定について
第2回 ・元年5月23日（木） ・出席者 理事7名 監事3名	(1) 平成30年度北上市社会福祉協議会事業報告について (2) 平成30年度北上市社会福祉協議会一般会計収支決算について (3) 平成31年度北上市社会福祉協議会事業計画の変更について (4) 平成31年度北上市社会福祉協議会一般会計収支補正予算（第1号）について
第3回 ・元年6月7日（金） ・出席者 理事12名 監事3名	(1) 北上市社会福祉協議会会長の選定について (2) 北上市社会福祉協議会副会長の選定について (3) 北上市社会福祉協議会常務理事の選定について (4) 第29回北上市社会福祉大会被表彰者の決定について (5) 北上市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について

開催期日	議題及び協議事項
	(6) 北上市社会福祉協議会福祉サービス事業に関する苦情解決第三者委員の選任について (7) 北上市社会福祉協議会福祉基金運営委員会委員の委嘱について
第4回 ・元年8月22日(木) ・出席者 理事12名 監事3名	(1) 令和元年度歳末たすけあい募金「まごころ応援金」の配分について
第5回 ・元年10月24日(木) ・出席者 理事11名 監事3名	(1) 北上市社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について (2) 北上市社会福祉協議会職員の育児休業及び育児短時間勤務規程の一部改正について (3) 北上市社会福祉協議会職員の介護休業及び介護短時間勤務規程の一部改正について (4) 北上市社会福祉協議会職員のハラスメント防止等規程の制定について (5) 北上市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について
第6回 ・元年12月19日(木) ・出席者 理事10名 監事3名	(1) 北上市社会福祉協議会職員の給与規程の一部改正について
第7回 ・2年3月16日(月) ・出席者 理事12名 監事3名	(1) 北上市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について (2) 北上市社会福祉協議会経理規程の一部改正について (3) 北上市社会福祉協議会たすけあい資金設置運営要綱の一部改正について (4) 平成31年度北上市社会福祉協議会一般会計収支補正予算(第2号)について (5) 令和2年度北上市社会福祉協議会事業計画について (6) 令和2年度北上市社会福祉協議会一般会計収支予算について

③ 評議員会の開催状況

開催期日	議題及び協議事項
第1回 ・元年6月6日(木) ・出席者 評議員16名 理事4名 監事3名	(1) 平成30年度北上市社会福祉協議会事業報告について (2) 平成30年度北上市社会福祉協議会一般会計収支決算について (3) 平成31年度北上市社会福祉協議会事業計画の変更について (4) 平成31年度北上市社会福祉協議会一般会計収支補正予算(第1号)について (5) 北上市社会福祉協議会理事の選任について (6) 北上市社会福祉協議会監事の選任について
第2回 ・2年3月23日(月) ・出席者 評議員15名 理事4名 監事3名	(1) 北上市社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について (2) 北上市社会福祉協議会職員の育児休業及び育児短時間勤務規程の一部改正について (3) 北上市社会福祉協議会職員の介護休業及び介護短時間勤務規程の一部改正について (4) 北上市社会福祉協議会職員のハラスメント防止等規程の制定について (5) 北上市社会福祉協議会職員の給与規程の一部改正について (6) 北上市社会福祉協議会経理規程の一部改正について

開催期日	議題及び協議事項
	(7) 北上市社会福祉協議会たすけあい資金設置運営要綱の一部改正について (8) 平成31年度北上市社会福祉協議会一般会計収支補正予算（第2号）について (9) 北上市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について (10) 令和2年度北上市社会福祉協議会事業計画について (11) 令和2年度北上市社会福祉協議会一般会計収支予算について

④ 監事会の開催状況

開催期日	監査内容
第1回 ・元年5月16日（木） ・出席者 監事3名 理事3名	(1) 平成31年3月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに一般会計執行状況について (2) 平成30年度北上市社会福祉協議会事業報告並びに一般会計収支決算について
第2回 ・元年8月22日（木） ・出席者 監事3名 理事3名	(1) 令和元年6月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに一般会計執行状況について
第3回 ・元年11月28日（木） ・出席者 監事3名 理事4名	(1) 令和元年9月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに一般会計執行状況について
第4回 ・2年2月20日（木） ・出席者 監事3名 理事2名	(1) 令和元年12月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに一般会計執行状況について

⑤ 市の監査状況

開催期日	議題及び協議事項
指定管理者監査 ・元年10月23日（水） ・出席者 理事2名	(1) 地方自治法第199条第7項の規定に基づく指定管理者監査
社会福祉法人指導監査 ・元年10月25日（金） ・出席者 理事2名 監事2名	(1) 社会福祉法第56条第1項の規定に基づく指導監査

⑥ 評議員選任・解任委員会の開催状況

開催期日	議題及び協議事項
第1回 ・元年6月24日（月） ・出席者 委員5名 事務局3名	(1) 北上市社会福祉協議会評議員の選任について

開催期日	議題及び協議事項
第2回 ・元年11月19日（火） ・出席者 委員5名 事務局3名	(1) 北上市社会福祉協議会評議員の選任について

⑦ 支部長会議の開催状況

開催期日及び出席者数	
第1回：31年4月15日（月）	出席者 44名（支部長14名、役職員30名）
第2回：元年5月15日（水）	出席者 42名（支部長13名、役職員29名）
第3回：元年10月21日（月）	出席者 24名（支部長13名、役職員11名）
第4回：2年3月4日（水）	出席者 29名（支部長14名、役職員15名）

⑧ 職員会議の開催状況

開催期日及び出席者数			
第1回：31年4月15日（月）	出席者 39名	第7回：元年10月15日（火）	出席者 35名
第2回：元年5月15日（水）	出席者 35名	第8回：元年11月15日（金）	出席者 28名
第3回：元年6月17日（月）	出席者 34名	第9回：元年12月16日（月）	出席者 32名
第4回：元年7月16日（火）	出席者 32名	第10回：2年1月14日（火）	出席者 32名
第5回：元年8月19日（月）	出席者 36名	第11回：2年2月17日（月）	出席者 34名
第6回：元年9月17日（火）	出席者 30名	第12回：2年3月9日（月）	出席者 33名

(2) 社協支部活動運営費の助成（単位：円）

支部名	支部運営費	福祉協力員活動費	小地域ネットワーク事業費		合計
			ふれまち	住民グループ	
黒沢尻北	694,000	35,000	3,200	387,700	1,119,900
黒沢尻東	650,000	37,000	20,400	488,350	1,195,750
黒沢尻西	583,000	34,000	25,800	255,650	898,450
立 花	235,000	9,000	42,000	120,000	406,000
飯 豊	666,000	30,000	23,250	232,550	951,800
二 子	282,000	13,000	20,150	124,500	439,650
更 木	171,000	13,000	33,600	143,000	360,600
黒 岩	162,000	8,000	2,000	62,700	234,700
口 内	198,000	18,000	2,000	57,150	275,150
稲 瀬	151,000	6,000	31,600	142,350	330,950
相 去	541,000	23,000	26,500	454,600	1,045,100
鬼 柳	374,000	16,000	34,700	112,200	536,900
江 釣 子	690,000	32,000	10,000	306,500	1,038,500
和 賀	877,000	69,000	37,450	720,800	1,704,250
合 計	6,274,000	343,000	312,650	3,608,050	10,537,700

(3) 総合福祉センター等の管理及び運営

内容及び実績	成果や課題等
<p>① 北上市総合福祉センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数：1,277 件 ・利用者数：26,850 名 <p>② 和賀町総合福祉センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数：366 件 ・利用者数：5,371 名 <p>③ 江釣子老人福祉センター【市指定管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数：359 件 ・利用者数：6,284 名 <p>(60 歳以上 3,888 名、60 歳未満 2,396 名)</p> <p>※詳細は P 52～53 参照</p>	<p>北上市及び和賀町総合福祉センターは当協議会の事務所となっているほか、住民主体の地域福祉活動の拠点として貸し出ししています。また、ボランティア団体や趣味の会等の活動の場としても多様に利用されています。</p> <p>江釣子老人福祉センターは、北上市の指定管理者として施設を管理運営し、住民の多様な活動の場として利用されています。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対策として、利用者に対するマスクの持参・着用、手洗い、手指消毒等を徹底し、感染防止に努めました。</p> <p>なお、経年による建物の修繕及び改修について、費用の確保等の検討が必要です。</p>

(4) 社会福祉法人連絡会（仮称）の組織化

内容及び実績	成果や課題等
<p>1 社会福祉法人の「地域における公益的な取組」に係る情報交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 期 日：元年9月30日（月） ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 参加者：市内社会福祉法人14法人 26名 ④ 内 容：社会福祉法人の「地域における公益的な取組」の概要について、各社会福祉法人の取組みについて、今後の取組みについて <p>2 「北上市社会福祉法人連絡会（仮称）」の組織化に係る研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 期 日：元年12月24日（火） ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 参加者：市内社会福祉法人16法人 28名 ④ 内 容：「北上市社会福祉法人連絡会（仮称）」の組織化について <p>3 「北上市社会福祉法人連絡会」の組織化に係る研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 期 日：2年2月5日（水） ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 参加者：市内社会福祉法人15法人 24名 ④ 内 容：北上市社会福祉法人連絡会規約（案）について、設立総会について <p>4 「北上市社会福祉法人連絡会」設立総会</p> <p>※中止</p>	<p>市内に事業所を有する社会福祉法人が一堂に会し、社会福祉法人の責務である「地域における公益的な取組」について情報交換を行いました。</p> <p>また、その情報交換会を受けて、北上市社会福祉法人連絡会の組織化に向けた研究会を開催し、市内に事業所を有する全ての社会福祉法人（17法人）が参画し、「北上市社会福祉法人連絡会」を組織化することとしました。</p> <p>なお、令和2年3月に設立総会を開催することとして準備していましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため開催を延期しました。</p>

(5) 社会福祉協議会会費の納入状況

内容及び実績	成果や課題等
① 一般会費：16,044,700円（詳細はP54参照） ② 賛助会費：646,000円（323件） ③ 団体会費：95,000円（31件） ④ 特別会費：1,530,000円（148件） 合計 18,315,700円	市民、福祉団体、企業等に会費の協力をいただくことにより地域福祉活動に参加していただいています。 会費納入額は前年度より微増となりましたが、当会費は地域福祉向上を図るための貴重な財源であることから、更に会費の必要性を理解し協力していただけるよう啓蒙活動を行うとともに、具体的な事業活動及び福祉サービスを通して、当協議会の認知度を高め、会員の拡大に努めます。

(6) 福祉基金の有効活用

① 福祉基金運営委員会の開催状況

開催期日及び出席者数
元年7月29日（月） 出席者 7名

② 福祉基金等の寄付及び助成実績

内容及び実績	成果や課題等
・福祉基金 寄付件数：7件 寄付金額：380,000円（一般福祉基金へ積立） ・一般活動 寄付件数：11件 寄付金額：5,435,923円（現金199,650円） （物品5,236,273円） ※詳細はP53参照	広く寄付を募り、頂戴した寄付金は、福祉団体等へ助成を行い、地域福祉活動に役立てています。 また、物品は当協議会事業等に活用し、福祉の増進に役立てています。

助成先（団体名）	助成内容	助成額(円)
北上市老人クラブ連合会	健康及び仲間づくり推進事業	50,000
北上市ボランティア連絡協議会	サークル研修会事業	43,000
北上市母子寡婦福祉協会	会員スポーツ交流の集い事業	15,000
北上市身体障害者福祉協会	身体障がい者健康増進事業	30,000
北上市手をつなぐ育成会	障がい者健康増進事業	40,000
岩手県聴覚障害者協会北上支部	聴覚障がい者社会参加促進事業	30,000
ボランティアサークルつばさ	歌のつばさ福祉施設等の慰問事業	10,000
北上手話サークル虹の会	ろうあ者との交流事業	30,000
手話サークル手のひら	はじめての手話教室・ろうあ者のお話を観る会事業	38,000
発達障害児支援サークル・あじっこ	SST教室・クリスマス会事業	15,000
北上市食生活改善推進員協議会	食育推進及び介護食研修会事業	100,000
きたかみ子育てネット	パパと一緒にプログラミング・リターンズ事業	50,000
傾聴ボランティアきたかみ	フォローアップ講座事業	50,000
不登校テーマ映画上映実行委員会	不登校テーマ映画上映等事業	60,000
合計（14団体）		561,000

③ 福祉基金積立額等（単位：円）

	30年度末 現在高	31年度 積立額	元年度末 現在高	31年度 利金額	備考
一般福祉基金	184,580,934	380,000	184,960,934	2,950,431	
地域福祉基金	75,481,309	0	75,481,309	1,120,163	うち福祉団体に 561,000円を助成
合計	260,062,243	380,000	260,442,243	4,070,594	

(7) 赤い羽根共同募金運動の実績 ※詳細はP55参照

① 一般募金の実績（単位：円）

目標額	12,538,000
実績額	12,327,289
達成率	98.3%

実績額内訳

戸別募金	7,955,215
法人募金	2,757,000
街頭募金	356,738
学校募金	383,095
職域募金	482,620
その他	392,621

② 歳末たすけあい募金の実績（単位：円）

目標額	3,217,000
実績額	3,295,104
達成率	102.4%

実績額内訳

戸別募金	2,289,328
法人募金	270,001
その他	735,775

③ 歳末たすけあい募金「まごころ応援金」の配分実績（単位：円）

区分	配分件数(件)	配分金額
ねたきり高齢者がいる世帯	4	24,000
重度心身障がい者(児)がいる世帯	101	606,000
支援を必要とする世帯	180	1,080,000
合計	285	1,710,000